

社会福祉法人 日本点字図書館

感謝全柔

2024

数多くのご支援に感謝いたします。



昭和 30 年代、当館に多大な貢献をいただいた式場隆三郎
(個人蔵 (式場隆三郎旧蔵))

感 謝 の 言 葉



社会福祉法人 日本点字図書館

理 事 長 長岡 英司

日本点字図書館関係者一同の感謝の気持ちを込めて、本冊子をお届けいたします。お寄せいただいた尊いご厚志に、深く感謝申し上げます。

2019年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（通称「読書バリアフリー法」）が施行されました。施行の翌年に国が策定した「基本的な計画」には、アクセシブルな書籍（点字図書、拡大図書など）やアクセシブルな電子書籍（デイジー図書、テキストデータ、音声読み上げ対応の電子書籍など）の充実とその利用体制の整備を目指す施策の方向性が示されています。昨年の第169回芥川龍之介賞受賞作「ハンチバック」の著者・市川沙央さんが、その贈呈式で読書バリアフリーの推進を訴えたことや、今年春に、日本文藝家協会などの作家3団体が、読書バリアフリーの推進を求める共同声明を発表したことは、この法律にとって力強い追い風です。

しかしながら、法律によって視覚障害者の読書環境が一気に改善されるわけではありません。むしろ、厳しい現実が改めて見えてきたと言えます。例えば、多種多様な一般向けの電子書籍を適切な点字や音声読み上げで速やかに利用できるようにするには、極めて高度な自動変換技術の開発が必要です。また、いくら自動化がすすんでも、快適で確実な読書のためには、人の知性や感性が介在するアクセシブル化が欠かせませんが、近年、点訳や朗読などを担ってくださる人材の確保が次第に難しくなりつつあります。

前述した国の「基本的な計画」では、視覚障害者への読書機会の提供で豊富な実績を有する点字図書館に、多くが期待されています。こうした社会的評価は、まさしく皆様のご支援の賜物といえます。しかし、点字図書館の役割がさらに重要になることに対する公的助成の強化は、まだありません。このような状況から、皆様には衷心からの感謝を表させていただきますとともに、引き続きのお力添えを切にお願い申し上げる次第でございます。

2023年度事業のあらまし

館 長 立花 明彦



新型コロナウィルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられ、「ウイズコロナ社会」が新たなステージを迎えるました。これを受け、2023年度、当館では、事業の殆どを従来の方式に戻して展開しました。

事業の根幹である図書貸出では、好評を博しているデイジー図書をテーマごとにひとまとめにし提供する「セレクトパック企画」を年5回に増やして実施し、前年を超える利用がありました。

若い世代の利用の拡大を図るべく、視覚障害関係の特別支援学校や大学へ出向き、読書の方法、サービスの内容、利用の仕方等の授業を行い、前年度並みの新規登録者の獲得ができました。

業務体験や視覚障害者についての理解を深める機会としての「にってんワークショップ」は2年目となり、新たなテーマを設定して8月以降、7回催し、各回盛会でした。

保有する視覚障害に関する豊富な資料等を調査・研究等に提供する奥村文庫では、外部から昨年度を上回る559名の利用があり、その役割を再認識させられます。所有資料を用いた当館についての研究では2件の論文が発表されていて、当館の存在を学会へ広報する機会となりました。

一方、わくわく用具ショップは来客数で回復傾向が見られましたが、全体的な売り上げはコロナ以前の回復を見るには至りませんでした。また当館の貴重な収入源である寄付金も前年比で大きな減収となりました。こうしたところに相次ぐ物価高騰等の影響が現れているように推察されます。実際、決算の結果は赤字となり厳しい状況が示され、重く受け止めねばなりません。

そんな中、点字図書や録音図書の製作・貸出を行なうほか、視覚障害者に寄り添い、各種事業を展開し読書環境向上に貢献していることが高く評価され、高橋松之助記念顕彰財団から第16回高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」が当館に贈られたことは、今後の読書バリアフリーに向けた大きな手掛けかりを得たようでもあり、当館へのエールとして受け止め、事業推進の力にしたいと思います。

当館の状況や事情をご理解いただき、お力添えをくださった皆様に改めて深く感謝申し上げます。各事業の実績につきましては、次ページ以降をご参照くださいませ。

2023 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：12,876 名

新規収蔵図書数：点字図書 652 タイトル、録音図書 757 タイトル

蔵書総数：点字図書 23,506 タイトル（85,904 冊）

録音図書 26,567 タイトル（51,978 卷）

貸出数：点字図書（冊子） 4,627 タイトル、録音図書（CD） 70,716 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 612 タイトル、録音図書 92,896 タイトル

月刊録音雑誌「にってんディジーマガジン」を 64,772 枚配布

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 234 名、448 時間

レファレンスサービスによる情報提供数：52,534 件

図書製作事業

製作数：点字図書 168 タイトル（728 冊）、音声デイジー図書 355 タイトル（2,959 時間）テキストデイジー図書 200 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル（18 時間）

ボランティア数：点訳ボランティア 51 名、朗読ボランティア 40 名

デイジー編集ボランティア 10 名、テキストデイジー編集ボランティア 36 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 80 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：905 種、73,347 点

新規取扱商品：アイナビネックポーチ、携帯型 OCR マルチプレーヤー センスプレーヤー、携帯型拡大読書器ルビー 10 スピーチ、音声・拡大読書器「快速よむべえ」、富山サンダー折りたたみ傘、音声付オリンパス IC レコーダー ボイストレックなど

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：30 タイトル（7,044 冊）製作、延べ 232 タイトル（761 冊）貸出

録音図書：音声デイジー図書 15 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル製作、延べ 593 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 15 種、15,773 点

〔サピエ図書館の運営（視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業）〕

会員数：個人会員 20,716 名、施設・団体会員 483 団体

提供数：

- ・点字データ 263,645 タイトル
- ・音声デイジーデータ 123,164 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 15,658 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 491 タイトル
- ・目録 1,241,717 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ 445,543 タイトル
- ・音声デイジーデータ 延べ 3,951,869 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 延べ 252,522 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 延べ 6,412 タイトル
- ・目録検索 4,293,223 件
- ・オンラインリクエスト 223,410 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 52,534 件の情報を提供。

自立支援事業

相談支援：基本相談 492 件

自立訓練（生活訓練）：実人数 92 名、延べ回数 2,103 回

医療機関に出向いての相談会：5 回

東京都委託事業

〔点字図書の製作・貸出〕

- ・点字図書：47 タイトル（324 冊）製作、延べ 169 タイトル（641 冊）貸出

〔声の図書の製作・貸出〕

- ・声の図書：77 タイトル（385 枚）製作、延べ 2,728 タイトル（2,742 枚）貸出

〔希望図書の製作〕

- ・個人の希望する点字図書：54 名・90 件、声の図書：56 名・123 件

〔視覚障害者用図書レファレンスサービス〕

- ・都内の視覚障害者、施設団体に対し 29,306 件の情報提供

海外支援事業

〔池田輝子基金〕

マレーシアを拠点に第 19 回池田輝子 ICT 獎学金事業を実施。参加者 5 名

〔一般社団法人霞会館助成〕

一般社団法人霞会館の助成により、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市の視覚障害者支援団体「ニヤット・ホン視覚障害者センター」に対し、点字プリンタ 1 台の提供と操作指導を行った。

本部事業

〔ふれる博物館〕

- ・第12回企画展「ジュラシック・パーク」（協力：真鍋真（国立科学博物館副館長、独立行政法人 国立科学博物館、一般財団法人 地球の石科学財団 奇石博物館）

2023年7月19日（水）～9月30日（土）（29日間） 来場者数：195名

- ・第13回企画展「江戸から昭和のマイホーム」（協力：公益財団法人 東京都歴史文化財団 江戸東京たてもの園、小沼豊店）

2023年11月22日（水）～2024年3月16日（土）（46日間） 来場者数：222名

〔視覚障害者関係墨字資料（奥村文庫）〕

新規収蔵 738点、来室者 965名、レンタル 847件、複写サービス 99枚

チャリティコンサート

第21回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート「ほのカルテット with 澤 和樹～弦楽アンサンブルの愉しみ～」

2023年10月28日（土） 東京文化会館 小ホール 来場者 286名

川崎市視覚障害者情報文化センター（設置：川崎市／指定管理事業者：日本点字図書館）

- ・利用登録者数：533名、306団体
- ・蔵書数：点字図書3,729タイトル（13,103冊）、録音図書6,953タイトル
- ・貸出数：点字図書440タイトル、録音図書7,688タイトル
- ・ダウンロード提供数：点字図書21タイトル、録音図書4,050タイトル
- ・図書製作：点字図書47タイトル、音声デイジー図書77タイトル、テキストデイジーアイコン4タイトル、シネマ・デイジー／音声ガイド16タイトル
- ・訓練事業：生活訓練4名、歩行訓練9名、パソコン訓練2名、ICT訓練2名、点字訓練3名、その他6名
- ・用具の展示と販売紹介：展示点数399点、販売紹介点数1,490点
- ・イベントの開催：読書会、音声ガイド付き映画体験上映会、コンサート、ヨガ教室、浪曲体験講座、訓練生屋外交流会、センターまつり 他

「式場隆三郎展」を開催しました

市川市にある式場病院を創立した精神科医、故式場隆三郎先生は、ゴッホの研究、山下清の支援、あるいは民藝運動の推進者として有名な先生ですが、当館の後援会長を務めてくださり、事業の発展に多大な貢献をされました。

その先生の業績を紹介する展示会が、昨年7月から今年の1月にかけて、民藝にかかわりの深い我孫子市の白樺文学館において開催されました。同館と式場病院、そして当館の三者が主催となり、先生の多彩な姿を紹介しましたが、前期は民藝運動を中心に、後期は当館との関わりを紹介しました。

先生と当館とのつながりは、1954年、先生からゴッホに関する著書の点字版製作を依頼されたことに始まります。その後1958年、先生は事業拡張に必要な隣地取得のための募金活動において中心的な役割を果たされ、1964年、当館創立者本間一夫の欧米視察では、金銭的なバックアップを保証し半ば命令的に渡航を促されました。その結果、取得した隣地は録音図書製作貸出事業の基礎となり、欧米で収集した盲人用具は用具事業の開始から共用品への流れの原点となったのです。

後期の展示において、当館との関わりを示す貴重な資料を公開し、当館の発展、ひいては視覚障害者の生活、文化の向上につながった先生の熱い思いを皆様に伝えました。後期来場者数は1,344名。多くの方に当館事業の一端をご紹介できました。



1964年に収集した欧米の盲人生活用具を展示

◆◆ご寄付へのお礼とご報告◆◆

2023年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 7,146 件 (前年度 7,455 件)

総額 89,845,343 円 (前年度 111,254,854 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000円未満	486 件	10万円以上 50万円未満	103 件
3,000円以上 5,000円未満	2,262 件	50万円以上 100万円未満	4 件
5,000円以上 1万円未満	1,924 件	100万円以上	11 件
1万円以上 10万円未満	2,356 件	合計	7,146 件

2023年度も篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、誠にありがとうございました。

このうち、5件はご遺贈として頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆◆募金箱設置にご協力いただいた企業・団体◆◆

募金箱設置にご協力いただきました企業・団体のお名前です。33団体の皆様から、合計 643,589 円のご協力を頂戴いたしました。

団体名	(五十音順)
朝日信用金庫	指圧ハウス うえるかむ
我孫子市白樺文学館	自家焙煎 珈琲舎ロッセ
淡野ゴスペルクワイア	湘北短期大学図書館
医療法人社団雄飛会平岡眼科医院	ダズンフォー
医療法人湘山会 眼科三宅病院	つかもと眼科クリニック
イルクッキアイオディアンジェロ	ナチュラルショップくまげら
植松医院	ハイアットリージェンシー東京
NPO法人 千夜一夜座	林歯科医院
小田急ホテルセンチュリーサザンタワー	富士レークホテル
オリンピア眼科病院	文右衛門そば
柿島屋	H A I R D O O R
カモシカスポーツ	吉川眼科クリニック
カラオケ館高田馬場店	ライカマイクロシステムズ株式会社
カラオケ館高田馬場2号店	楽読 新宿スクール
キリンシティ高田馬場店	リストランテ 文流
国稀酒造株式会社	和創さくらの庭
ザロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留	

◆◆愛のポストカード運動へのご支援◆◆

当館では、書き損じはがきや未使用のはがきをご寄贈いただいております。郵便局で切手に交換して日常業務に不可欠な通信費の一部に充当させていただいております。

2023年度は61名・3団体様からご寄贈いただき、書き損じはがきから切手への引き換え金額は322,622円になりました。

◆◆ご寄付いただいた主な企業・団体◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。延べ 505 団体の皆様から、合計 12,023,719 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団体名	(五十音順)
ALLIANCE GATE 株式会社	晃華学園麦の会
一般社団法人全国銀行協会	宗教法人真福寺
一般財団法人報国積善会	宗教法人浅草寺
医療法人社団樹の花会立花クリニック	真宗大谷派聞明寺
医療法人社団中安眼科クリニック	真福寺
医療法人社団雄飛会平岡眼科医院	清泉小学校
英語点訳サークル「ルイ」	全国友の会
M S D 株式会社	曹洞宗 大雄寺
圓通寺	つながる募金
大西眼科	ニシフミート株式会社
神奈川県眼科医会	日本出版販売労働組合
株式会社偕成社	P F U 労働組合
株式会社高知システム開発	三菱商事株式会社
株式会社清和産業	三菱食品株式会社
株式会社セゾンテクノロジー	三菱電機株式会社
株式会社TAKARA & COMPANY	むつき会
株式会社ニデック	有限会社For You
株式会社日本財託	有限会社ヤマニ大門
株式会社日立ビルシステム	有限会社菱和興産
株式会社ブルースプラッシュ	リネットジャパングループ株式会社
河和田屋印刷株式会社	朗読ボランティア「櫻の実会」
觀音寺	

◆◆企業ボランティアのご協力◆◆

次の企業の社員の皆様から、休憩時間を利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙などを利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

旭海運株式会社、株式会社アートコーヒー、東京海上日動安心 110 番株式会社、東京海上日動調査サービス株式会社、日本郵船株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社

◆◆ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ◆◆

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点字図書		録音図書	
協力者	口数	協力者	口数
イオンマーケティング株式会社	18	イオンマーケティング株式会社	34
松井 まり子	5	ロクシタンジャポン株式会社	10
共同印刷株式会社	3	三菱 UFJ 信託銀行株式会社	8
河相 利	2	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
足立 由布子	1	ハウス食品労働組合	3
点訳きつつき	1	はんだこどもクリニック	3
飛松 一樹	1	株式会社サンセイランディック	2
日本出版販売労働組合	1	株式会社日立ビルシステム	2
古川 京一	1	河相 利	2
匿名	1	下野 恵子	2
		匿名	2
		大竹 玉枝	1
		株式会社イオン銀行	1
		株式会社ニデック	1
		鈴木 肇	1
		飛松 一樹	1
		ハーチ株式会社	1
		耕岡 正浩	1
		松井 まり子	1
		室橋 総吉・長女	1
		匿名	1
点字図書 合計 10 件	34 口	録音図書 合計 21 件	83 口
点字図書、録音図書 総計 117 口			

◆◆企業や団体からのご助成◆◆

企業・団体名	金額(円)	助成内容
イオンリテール株式会社	41,500	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
一般財團法人 NHK 財団	2,000,000	テレビ・ディジタルの製作・貸出
一般財團法人日本宝くじ協会	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
一般社団法人震会館	1,000,000	視覚障害者支援団体への点字プリンタの提供と操作指導(ベトナム社会主義共和国)
大阪府民共済生活協同組合	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
株式会社セゾン情報システムズ (現 株式会社セゾンテクノロジー)	2,500,000	訓練用機器購入及び電子書籍製作関連機器購入の助成
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
教職員共済生活協同組合	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)
公益財團法人 JKA	2,909,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布(障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業)
公益財團法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」の製作・配布
公益財團法人原田積善会	500,000	宛名カード用プリンタ整備事業
公益財團法人一つ橋綜合財団	5,000,000	録音図書「一つ橋文庫」の製作・貸出
		テキストデイジーグラフの製作・提供
		マルチメディアデイジーカ教材制作 Web システムの普及事業
		録音図書ネットワーク製作システム「びぶりお工房」の維持運用
		シネマ・ディジタル「NHKスペシャル映像の世纪」の製作・提供
公益財團法人毎日新聞東京社会事業団	100,000	第6回全国視覚障害者囲碁大会開催費
公益信託久保記念点字図書援助基金	359,200	視覚障害者等に対するデイジーグラフコンテンツ提供に関わる確認作業のための再生機器の購入
埼玉県民共済生活協同組合	3,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団	100,000	第6回全国視覚障害者囲碁大会開催費
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団	100,000	第6回全国視覚障害者囲碁大会開催費
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団	100,000	チャリティコンサート開催費
社会福祉法人読売光と愛の事業団	700,000	専門対面リーディングサービス事業
		ロービジョンサービス事業
		視覚障害者就労支援のための機器購入費
全国生活協同組合連合会	3,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書のデイジー編集作業費

◆◆チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前◆◆

当館が主催したチャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。9団体の皆様から、合計120,000円のご協力を頂戴しました。団体名は、当館ホームページにてもご覧いただけます。

団体名 (五十音順)	
一般財団法人A V C C	公益財団法人すこやか食生活協会
オルフェウスコンサルティング株式会社	社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
株式会社サン・データセンター	P F U 労働組合
株式会社西武洋紙店	有限会社大橋洋紙店
株式会社服部メディカル研究所	

◆◆イベント協賛・広告掲載をいただいた企業◆◆

当館が主催したチャリティコンサートへの協賛、また当館発行機関紙「にってんフォーラム」に広告掲載のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

イオンフィナンシャルサービス株式会社、特定非営利活動法人メディア・アクセス・サポートセンター、株式会社イオン銀行、国稀酒造株式会社、シナノケンシ株式会社、三菱電機株式会社

◆◆池田輝子基金事業のご報告◆◆

高田馬場の篤志家・池田輝子氏より寄贈されたマンション2棟の家賃収入をもとに、3つの基金事業を実施しました。

1. 池田輝子記念文庫製作事業

スタジオ録音及びデイジー編集により、87タイトルの録音図書を製作。

2. ふれる博物館事業

・ ジュラシック・パーク（協力：国立科学博物館副館長 真鍋真氏、独立行政法人国立科学博物館、一般財団法人地球の石科学財団 奇石博物館）

・ 江戸から昭和のマイホーム（協力：公益財団法人東京都歴史文化財団江戸東京たてもの園、小沼豊店）

・ ワークショップ「江戸を体感 一えどはく移動博物館一」（協力：公益財団法人東京都歴史文化財団江戸東京博物館）

3. 池田輝子ICT奨学金事業

2023年6月26日～7月8日 ICT訓練中級コース 参加者5名

◆◆手数料免除口座開設のご案内◆◆

2023年度も皆様より多大なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、株式会社ゆうちょ銀行の承認を得て「手数料免除口座」を開設いたしました。「社会福祉の増進を目的とする事業に対する寄付金の募集」にのみ使用できる口座で、窓口でお手続きいただいた場合に限り、払込手数料・硬貨取扱料金が免除されます。こちらの払込取扱票は青色になります。

当館からお送りする記入済の払込取扱票のほか、ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票に下記の口座番号をご記入いただき、窓口にて「手数料免除口座への払込です」とお伝えいただければ、手数料は一切かかりません。

従来は皆様に赤色の払込取扱票をお送りし、ご寄付をお願いしておりましたが、払込手数料は加入者である当館の負担のため、2023年度の払込手数料総額は約118万円に及びました。この金額は寄付金総額の1.3%にあたります。

手数料免除口座への払込はATMの対象外となっており、皆様にはご不便をお掛けいたしますが、お寄せいただく寄付金を運営費として活用させていただくため、何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

ゆうちょ銀行 寄付金専用手数料免除口座

日座番号：00180-2-792949

払込取扱票													
99													
口座記号番号													
00180-2		792949		金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
加入者名		社会福祉法人 日本点字図書館		料金				備考	免				
<p>※ 窓口での払込料金は無料です。本紙のATMでの使用はできません。</p>													
ご依頼人欄		ご住所											
通信欄		フリガナ お名前											
(電話番号 - - -)													
<p>ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号東第62751号) これより下部には何も記入しないでください。</p>													
				日 附 印									
<p>振替払込請求書兼受領証</p>													
				日 附 印									
<p>この受領証は、大切に保管してください。</p>													

決算のあらまし
2023年4月1日から2024年3月31日

単位 (円)

事業活動による収支 (収入)	
障害福祉サービス事業収入	27,489,325
点字図書館事業収入	518,294,638
盲人用具販売事業収入	375,290,372
マンション経営事業収入	42,447,803
本部事業収入	1,824,000
経常経費寄附金収入	100,866,625
受取利息配当金収入	5,386,804
その他の収入	10,347,878
事業活動収入計(1)	1,081,947,445
事業活動による収支 (支出)	
人件費支出 (法人負担分)	341,309,662
委託・補助金事業人件費支出	239,577,682
事業費支出	371,012,882
事務費支出	109,541,977
支払利息支出	585,303
その他の支出	1,460,640
事業活動支出計(2)	1,063,488,146
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	18,459,299
施設整備等による収支 (収入)	
施設整備等補助金収入	38,848,167
施設整備等収入計(4)	38,848,167
施設整備等による収支 (支出)	
設備資金借入金元金償還支出	9,172,804
固定資産取得支出	62,837,795
ファイナンス・リース債務の返済支出	6,578,143
施設整備等支出計(5)	78,588,742
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 39,740,575
その他の活動による収支 (収入)	
積立資産取崩収入	63,672,328
その他の活動による収入	873,500
その他の活動収入計(7)	64,545,828
その他の活動による収支 (支出)	
積立資産支出	49,100,000
その他の活動による支出	4,058,194
その他の活動支出計(8)	53,158,194
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	11,387,634
当期資金収支差額合計(10=3+6+9)	△ 9,893,642
前期末支払資金残高(11)	127,581,527
当期末支払資金残高(10+11)	117,687,885

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 藏書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコード1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訃者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんディジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	塙保己一賞貢献賞受賞
2017（平成29）年	指定特定相談支援事業および自立訓練（機能訓練）事業を開始
2018（平成30）年	日本点字図書館附属池田輝子記念ふれる博物館開設
2020（令和2）年	著作権法における図書館資料の複製が認められる施設に指定される

役 員

理事長	長岡 英司
常務理事	立花 明彦 館長
同	伊藤 宣真 本部長
理事	芦田 真吾 東京都障害者介護給付費等不服審査会委員
同	相賀 昌宏 (株)小学館会長
同	岡本 厚 前(株)岩波書店代表取締役社長
同	河 幹夫 (社福)日本心身障害児協会理事長
同	迫田 朋子 元 NHK エグゼクティブ・ディレクター
同	寺尾 徹 (社福)浴風会理事長
同	三田 誠広 作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監事	君島 淳二 (公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事
同	野田 聖子 弁護士

評議員

青木 隆一	石橋 迪子	大胡田 誠	加藤真由美
榑松 武男	小林 裕明	白井 夕子	富田 清邦
福島 智	星川 安之	本間 一明	増渕 路子
渡邊 岳	和波 孝禧		

後援会長 阿刀田 高 (作家)

(敬称は省略させていただきました)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒 169-8586 東京都新宿区高田馬場 1 - 2 3 - 4

電話 (03) 3209 - 0241 (代表) FAX (03) 3204 - 5641

ホームページ <https://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

寄付口座

ゆうちょ銀行 00180 - 2 - 792949 (寄付専用 手数料免除)

加入者名: 社会福祉法人 日本点字図書館

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行 高田馬場支店 普通 2855735

三井住友銀行 高田馬場支店 普通 92380

三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店 普通 167456

口座名: 社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ: フク) ニッポンテンジトショカン

